

令和2年度(2020年度)  
厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策政策研究事業)  
分担研究報告書

HIV 感染症及びその併存疾患の実態把握のための研究

研究分担者 今橋 真弓 名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部  
感染症研究室長  
横幕 能行 名古屋医療センター感染症内科 エイズ総合診療部長  
研究代表者 野田 龍也 奈良県立医科大学・医学部・公衆衛生学講座・准教授

**研究要旨**

全国のエイズ診療拠点病院に対し行ってきた調査(拠点病院調査)とわが国の保険診療の全数調査(悉皆調査)であるレセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)の定期通院者数および治療者数を比較することで、NDBが拠点病院調査の一部項目の代替となり得るか検討した。2016年～2018年にかけてNDBではHIV病名およびHIVウイルス量定量検査が観察期間内に行われている患者を「Retained」として抽出し、その中から抗HIV薬が投与されている患者を「On Treatment」として抽出した。拠点病院調査では「定期通院者数」を「Retained」、「治療を行っている患者数」を「On Treatment」として日本全国、及び都道府県別に抽出した。日本全国の数で比較するとNDBと拠点病院調査の人数の差異は拠点病院調査で得られた人数の5%未満であった。1000人以上の定期通院者数を有する都道府県の分布はNDBも拠点病院調査も同様であった。しかし、都道府県別でNDBと拠点病院調査の人数を比較するとその差は±20%程度まで上昇した。今後はマスキングされたデータの取り扱いについても考慮しつつ、患者数が少ない地域においてもHIV診療の現状を明らかにできる集計定義および公表方法について検討する必要がある。

**A. 研究目的**

わが国の保険診療の全数調査(悉皆調査)であるレセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)から抽出したHIV感染者数が「HIV感染症の医療体制の整備に関する研究」(研究代表者:横幕能行、以下医療体制班)が毎年行ってきた拠点病院調査の定期通院者数との比較を行うことでNDBが拠点病院調査の一部項目の代替となるかを検証した。

**B. 研究方法**

定期通院者数(Retained)とUNAIDSが定めた90-90-90の2nd(On Treatment)の人数を下記の定義に沿ってNDBより抽出した。同様に都道府県別に抽出した。その人数を医療体制班が毎年行ってきたエイズ診療拠点病院調査におけ

る「定期通院者数」と「治療を行っている患者数」と比較した。抽出年は暦年2016・2017・2018年で、抽出単位は都道府県別および全体数とした。各都道府県別の人数については病院所在地で抽出し、患者住所では抽出していない。同一患者が同じ観察期間に都道府県をまたいで複数の医療機関を受診した場合は、各々の医療機関でカウントされている。

**定義**

NDBからの抽出

**Retained :**

HIV病名(血友病除く)+HIV定量検査実施

**On Treatment :**

Retainedとされた患者の中から抽出するが、観察対象期間より後に処方が開始された患者

も対象とする。

抽出する際の病名および抗 HIV 薬の定義は、当研究班で使用している「HIV 関連傷病名」と「血友病関連傷病名」および医薬品マスタを使用した。

#### 拠点病院調査からの抽出

##### 定期受診者数：

各年の 10 月 1 日～12 月 31 日までに HIV 感染症または後天性免疫不全症候群を確定傷病名として外来受診(+入院)件数(疑いは除く)。または

例 1：1 年間の一定期間のデータから算出した年間の受診者数

例 2：1 年間のある 1 か月間の定期受診者数の 3 倍

で代用することも可能。

**治療中の人数：**抗 HIV 薬が処方されている総数。ある 1 か月の抗 HIV 剤の処方箋の数の 3 倍で代用することも可能。

NDB において、10 人未満の人数についてはマスクされる。また同一都道府県で「Retained」と「Ontreatment」の差が 10 人未満の場合は、陽性者のうち未治療者の人数が 10 未満になることから、10 人以上の数値についても On treatment の数値をマスクしている。それらの数値(都道府県)は今回の解析からは除外した。On Treatment の人数がマスクされた都道府県は

2016 年度は徳島・高知・佐賀・長崎・鹿児島

2017 年度は鳥取・高知・佐賀・熊本

2018 年度は鳥取・高知・佐賀・熊本

であり、これらの都道府県は表 2, 表 3 で空白となっている。

#### C. 研究結果

##### 1) 定期通院者数・治療中の患者数総数(表 1)

NDB および拠点病院調査から集計した定期通院者数及び投薬治療中の患者数を隔年ごとに比較した。NDB で抽出された人数とクリニックも含む拠点病院調査で得られた人数は、NDB の方が多かった。人数の差は NDB で得られた人数の 0.9%～3.8%であった。「On Treatment」では、NDB の方が少なかった。人数の差は拠点病院調査で得られた人数の 2.0～4.8%であった。On Treatment/Retained (=治療率、つまり 90-90-90 の 2nd) を算出すると、NDB の方が各年度低い結果が得られた。

##### 2) 都道府県別定期受診者数(表 2)

表 2 に各データの都道府県別人数を図示した。濃い色になるほど人数が多いことを示している。Retained、On Treatment 両方とも東京・神奈川・愛知・大阪に 1000 人以上の患者が集積していることが分かった。これは NDB データ、拠点病院調査データのどちらでも同じ傾向が認められた。

##### 3) 拠点病院調査と NDB の比較(表 3)

表 3 では各人数の比を都道府県別に提示した。Retained は人数比が 0.5～1 未満の都道府県が多く、逆に On Treatment では人数比が 1～1.25 の都道府県が多かった。Retained では比は 0.536～1.8 までの範囲であったが、On Treatment では比は 0.77～1.25 であった。都道府県別に表すと、On Treatment の方が、NDB データと拠点病院調査データ間で人数の振れ幅が少なかった。

#### D. 考察

それぞれの定義に則って NDB および拠点病院調査の人数を抽出した。どの年度でも治療中の患者の人数が拠点病院調査で多く抽出されていた。

日本全国で見た場合、その誤差は高くても 4.8%であったが、都道府県別で解析すると±20%程度の差が認められた。

拠点病院調査では処方箋の枚数をもとに算出した場合、例えば 1 か月で同じ患者でも 2 回来院して処方されると 2 人としてカウントされる。その結果として拠点病院調査で On Treatment の人数が多く算出された可能性がある。一方、NDB では On Treatment で観察期間より後に処方された患者も過去に遡って抽出対象に入っている。この場合、拠点病院調査より抽出される人数が多くなることが予想されるが、実際は NDB の方が少なかった。この原因については現時点では不明である。抽出定義の再考が必要となるだろう。本研究班で使用している抗 HIV 薬マスタは現在流通している抗 HIV 薬が全て含まれているため、NDB からの On Treatment の「拾い漏れの可能性は低いと考えられる。

地域別、将来的には医療圏別等詳細な解析をしようとする、患者数が少数の地域では 10 未満または計算で 10 未満となるセルが増え、マスクされるデータの量が増加する可能性

がある。マスキングされるデータの取り扱いについても再考が必要である。

## E. 結論

拠点病院調査データと NDB データの「定期通院者数(Retained)」と「治療者数(On Treatment)」の日本全国及び各都道府県別の人数の比較を行った。NDB の個人情報保護の観点からのデータのマスキングの制限を考慮の上、より現実に近い抽出定義を再考する必要があるが示唆された。

## F. 健康危険情報

なし

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

なし

### 2. 学会発表

なし

## H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

### 1. 特許取得

なし

### 2. 実用新案登録

なし

### 3. その他

なし

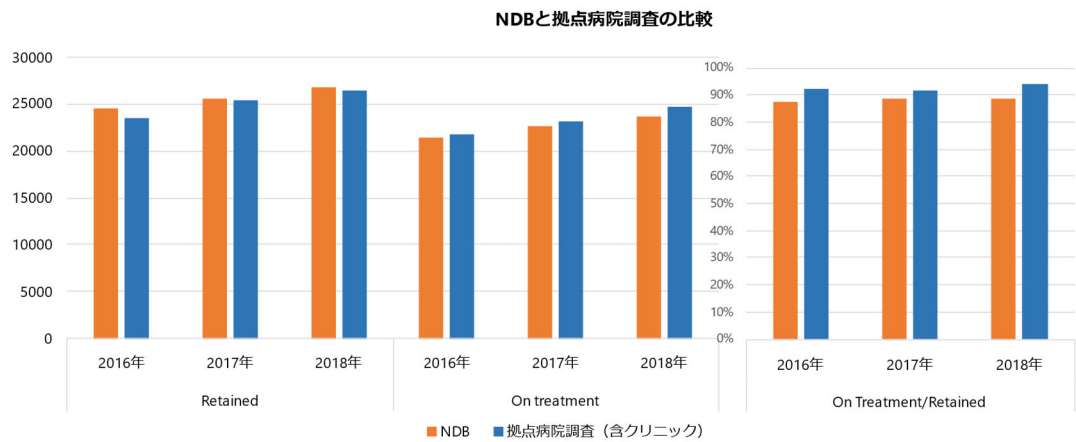
## 資料一覧

【資料 1】表 1：定期通院者数および治療を行っている患者総数

【資料 2】表 2：都道府県別定期通院者数及び治療者数

【資料 3】表 3：拠点病院調査データと NDB データの比 ( $r = \text{拠点病院調査} / \text{NDB}$ )  
(データがない都道府県は除外)

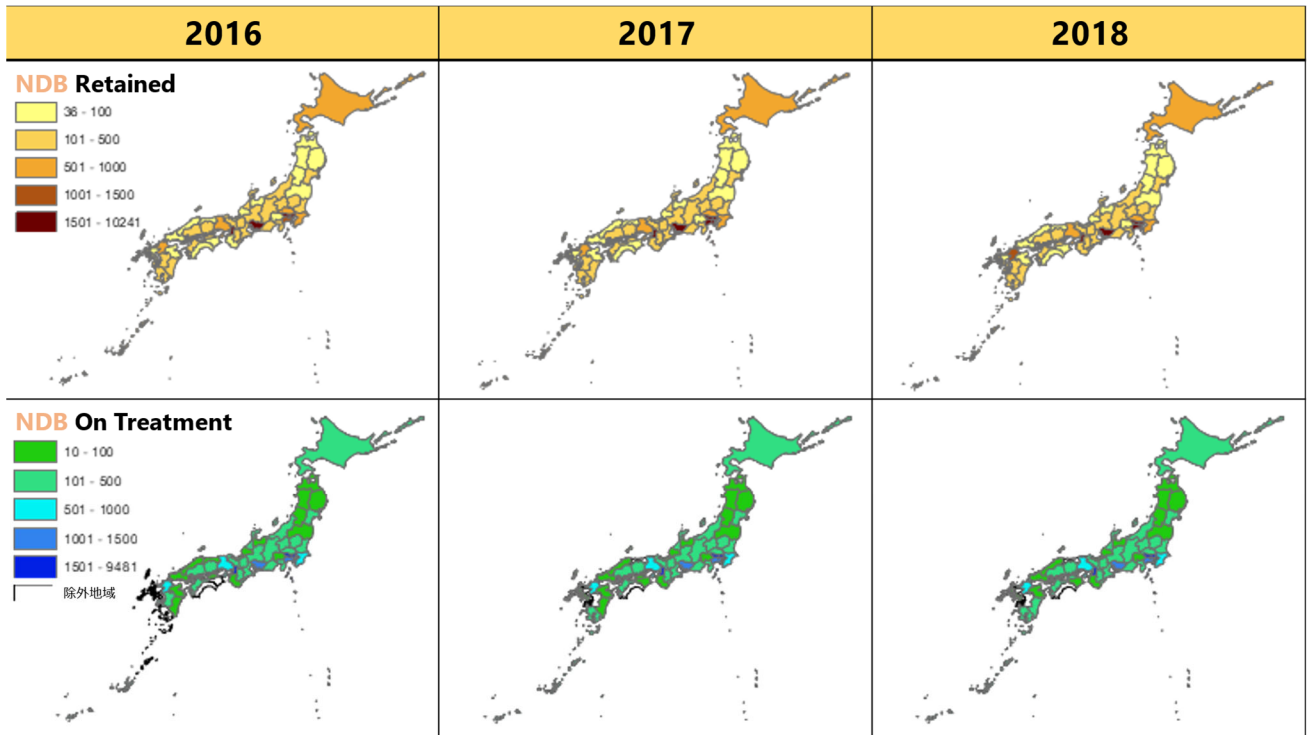
表1：定期通院者数および治療を行っている患者総数



	Retained			On treatment			On Treatment/Retained		
	2016年	2017年	2018年	2016年	2017年	2018年	2016年	2017年	2018年
NDB	24,486	25,612	26,696	21,362	22,666	23,627	87%	88%	89%
拠点病院調査 (含クリニック)	23,562	25,375	26,407	21,790	23,188	24,772	92%	91%	94%

表2：都道府県別定期通院者数及び治療者数

A) NDBデータ



B) 拠点病院調査データ

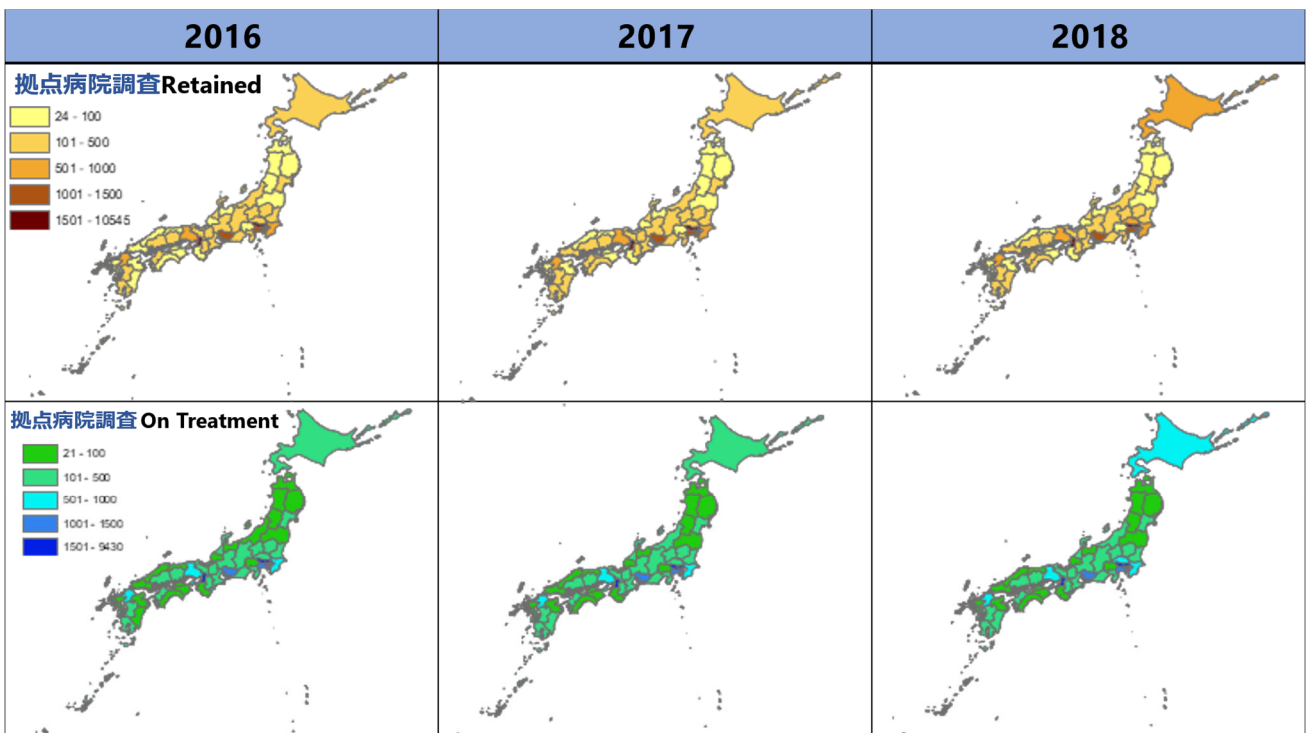


表3：拠点病院調査データとNDBデータの比（ $r = \text{拠点病院調査} / \text{NDB}$ ）（データがない都道府県は除外）

